

《情報公開文書》

牛乳アレルギー発症における

牛由来ミルク摂取開始時期に関する後方視的観察研究

研究の概要

【背景】

牛乳は食物アレルギーにおいて鶏卵に次いで多い食物であり、原料として含む加工品も多いため、除去による負担が大きい食物です。また、栄養面でも特に乳幼児期の重要なカルシウム源であるため、発症予防への期待が大きい食物でもあります。

食物アレルギーの発症予防について、落花生と鶏卵の早期摂取の効果が示されており、特に鶏卵については具体的な摂取時期や摂取量もわかってきています。牛乳についても早期摂取による発症予防効果を示す報告が増えていますが、効果的な摂取時期や摂取量はまだわかっていません。

【目的】

本研究では、牛由来ミルクをどの時期に摂取するかにより、牛乳アレルギーの発症の有無に関連があるかを明らかにすることを目的とします。これまでに報告されている研究結果が、本研究の対象となる患者さんの現状と矛盾がないかの確認も行います。

【意義】

牛乳アレルギーの発症の有無と牛由来ミルクの摂取時期を明らかとすることで、牛乳アレルギーの予防に効果的な栄養指導ができるようになる可能性があります。

【方法】

長崎大学病院小児科 アレルギー外来を受診し、アレルギー外来問診票を記載した患者さんを対象とします。

問診票から牛由来ミルクの摂取時期の情報を収集、診療録から牛乳アレルギー発症についての情報を収集し、牛由来ミルクの摂取時期と牛乳アレルギー発症の有無との関連を解析します。

対象となる患者さん

2022年6月1日から2025年1月31日に長崎大学病院小児科 アレルギー外来を受診し、問診票を記載、提出した方で、牛乳アレルギーの有無が確定した方が対象になります。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

アレルギー外来問診票より、月齢ごとの母乳、ミルクの摂取状況についての情報を収集します。また、診療録より下記の情報を収集します。

- ・年齢

<ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・食物アレルギー診断の有無と診断時期、ある場合は食物アレルギーの原因抗原、食物アレルギーの病型 ・アトピー性皮膚炎の有無 ・検査値：非特異的 IgE 値、特異的 IgE 値（ミルク、カゼイン） 	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2025 年 2 月 27 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
<p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2025 年 12 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 小児科 氏名：佐々木 理代 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7298
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 小児科 佐々木理代 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7298 FAX 095 (819) 7301	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	